

# 「ネバリ勝ち MAP505」補足説明

## 1. 素材

主材はポリエチレンで、粘着材とパラフィン系オイルを使用しています。

## 2. 素材特性

- 1) K6301 JISのゴム系の物理試験方法が規定されている項目です。
- 2) C27 ゴム系の硬度のことです。硬度換算で言うASKER (アスカ) C硬度の表示数字で、例として消しゴムの硬度がC40~50です。
- 3) その他 硬度や引裂強度・引張強度の数値は対象物を乗せた時に、素材への沈み込みや長期間物が置かれていても耐えられる仕様数値にしてあります。

## 3. 耐振動試験

- 1) 財団法人日本電子部品信頼センター環境試験所に委託
- 2) 試験方法
  - ①振動数：1. 2. 3. 4. 5. 6 Hz
  - ②全振幅：20 mm
  - ③掃引方向：水平方向及び上下方向
  - ④振動時間：20秒
- 3) 測定機器 パソコン (デスクトップタイプ) で試験を行い状態を観察する。
- 4) 使用機器 振動試験器 G-0215 製造社-振研
- 5) 試験報告

振動数 (Hz)	全振幅 (mm)	加速度 (Gal)	水平	上下
1	20	39.5	○	○
2	20	157.9	○	○
3	20	355.3	○	○
4	20	631.7	○	○
5	20	987.0	○	○
6	20	1421.0	○	○

\*振動試験は各振動数で3回行い、異常の無い場合は○とする。  
\*震度の目安として震度7が400~600 Galです。

## 4. 耐久性

- 1) 耐候性試験「JIS-D-0205に準ずる」  
試験器 : カーボンウェザーメーター  
ブラックパネル温度 : 63℃  
降雨サイクル : 18分/120分  
照射時間 : 100時間  
検査 : 亀裂お呼び著しい変色等の異常の有無を目視  
試験結果 : 外観異常なし
- オゾン劣化試験「JIS-K-6301に準ずる」  
オゾン濃度 : 50.5 ppm  
温度 : 40℃  
試験片 : ダンベル1号  
伸長 : 20%  
検査 : 試験片をオゾン雰囲気中に72時間暴露し試験槽から取り出して亀裂の状態を観察  
試験結果 : 異常なし
- 耐熱老化試験「JIS-K-6301に準ずる」  
試験片 : ダンベル2号  
引張速度 : 500 mm/min  
検査 : 試験片を70℃恒温槽に48時間放置後、引張試験を行い切断時の強度を測定  
試験結果 : 8.0 kg/cm<sup>2</sup> (初期値と変化なし)

## 2) 経年劣化 約10年

使用期間5~7年程で安全のため新品に交換する事をお勧めします。  
硬化現象でだんだん空気に触れている部分が堅くなってしまいます。紫外線には弱く直射日光の当たるところに放置すると急速に堅くなってしまいます。  
<ウレタン樹脂(他社製)の経年劣化2~3年(ひび割れ・ボロボロ・ベトベト現象)とは明らかに違います。>

## 5. 燃焼試験

### 発生ガス

硫黄酸化物 (SO<sub>x</sub>) : 検出限界以下 (1mg/g以下)  
窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>) : 検出限界以下 (1mg/g以下)  
塩化水素 (HCL) : 0.1mg/g以下  
一酸化炭素 (CO) : 130mg/g

## 6. 耐薬品性試験 (JIS K6301 23℃7日間)

- 1) 5%硫酸 変化無し
- 2) 5%酢酸 変化無し
- 3) 10% NaOH 変化無し
- 4) 25%アンモニア 変化無し
- 5) アセトン 溶解 (-70%)
- 6) エタノール 溶解 (-60%)
- 7) トルエン 溶解 (1時間)
- 8) 酢酸エチル 溶解 (5時間)
- 9) ターピン油 1種 膨潤 (+71%)

## 7. 完全融解温度 160℃

## 8. 取付に際しての注意点

粘性のあるマットなので対象物のホコリなどはOAクリーナーなどでふき取ってください。(水分は取り除いてください) ゴム足の着いている対象物に取り付ける場合は、ゴム足を外して取り付けるようにしてください。格子状の脚でも十分に効果があります。

(注) 転倒防止マット「ネバリ勝ち」は耐震テストの結果において、極めて優れた結果を得ておりますが、実際の地震時の振動では環境等により異なる場合が十分予想されます。従って「ネバリ勝ち」設置にて当社が地震災害の事故を保証するものではありません。